

第11回日本臨床腫瘍学会学術集会

ペイシャントアドボケイトプログラム3日目パネルディスカッション企画

会場 仙台国際センター1F 国際交流コーナー研修室

◆ 座談会（パネルディスカッション） 8.31（土） 9:00～12:00

座長 : 五十嵐昭子（千葉・支えあう会α）
安岡佑莉子（高知・高知がん患者支援推進協議会）

テーマ : 「患者と医療者が手を携えるために」

- ・患者個人の最適治療へのアクセスの向上
- ・病院から在宅へ 地域連携とチーム医療

- 9:00 Keynote Speech
- ① 患者の立場から
五十嵐 昭子（15分）
安岡 佑莉子（15分）
 - ② 医療者の立場から
蒲生真紀夫（15分）
（大崎市民病院腫瘍内科）
松田 芳美（15分）
（宮城県立がんセンターがん看護専門看護師）
 - ③ 市民・行政の立場から
中山 康子（15分）
（在宅緩和ケア支援センター 虹）
佐々木 淳（15分）
（宮城県 保健福祉部）
*がん対策予算関連の宮城県の事例紹介等

10:30-10:40 休憩

10:40 パネルディスカッション（30分）

司会 : 郷内 淳子
パネリスト: 上記登壇者 6人